

課題に取り組む「室」を紹介します

特区・離島振興室

特区・離島振興室は、実態に合わなくなつた国の規制を特定の地域を設けて緩和し、地域経済の活性化を促進する「構造改革特区」と、地域の自主的・自立的な取り組みにより地域活力の再生を実現させる「地域再生」を支持し、佐渡の活性化を図るため事業推進に取り組んでいます。

また、離島がかかえる課題やニーズを地域で創意工夫により活性化を目指す離島振興も担当しています。

なお、「特区」や「地域再生」に提案やアイデアがありましたら特区・離島振興室までお願いします。

市民参加推進室

市民の皆様身近な男女共同参画社会の構築、NPO法人、郷土会、姉妹都市、国際交流等の5つの事業に担当しています。

佐渡市においては立ち遅れている男女共同参画推進条例の制定を図ります。NPO法人は、現在認定された法人は、9団体、申請中のものは、3団体あります。それぞれの団体は、行政のあらゆる分野にわたって社会の

ニーズにこたえて活発な取り組みが行われています。郷土会においては、5月に佐渡市東京事務所を設立し、首都圏への情報発信や情報収集を行い佐渡観光へのPR、文化産業等も支援することとなっています。以上のように、住民の皆様が安心して生き生き暮らせることの実現を目指していきます。

情報センター室

情報センター室は、昨年の佐渡市誕生とともに設置され、ケーブルテレビによる番組放送を行っています。最も身近な情報手段であるテレビを使って行政情報を始め、まちの話題や市民の活動の様子を毎日お伝えしています。

昨年7月の開局以来1年が経過して「SNSテレビ」といつ名前もようやく覚えてもらえるようになり、皆さんからの情報も多くなるようになってきました。

佐渡は広いので、ずっと島に住んでいる人でも知らないことが多くあります。ケーブルテレビを有効活用し、地域の再発見や「ミニ」の促進に心がけていきますので、皆さんのご意見、ご感想をお寄せください。

協 会 者 消 費 者 協 会 協 会 協 会

新潟県消費者協会佐和田支部 設立30周年を迎えて

新潟県消費者協会佐和田支部は、昭和51年1月に62名の会員で発足いたしました。現在88名の会員が佐渡の豊かな自然を愛し、資源の有効活用にと紙類のリサイクル運動、リサイクル即売会、EMボカシ・廃油石けん作りなどを行い、また島内外の視察をおして会員相互の交流を図っています。

去る6月15日には、あざやかなバラが活けられたアミノスメント佐渡のはまなすホールで、佐和田支部設立30周年記念式典が行われました。

晴れて暑い午後でしたが、来賓の方をはじめとして会員、島内の各支部の皆様や一般の方々、総勢100余名の方々が列席してくださいました。

式典の中で、歴代の会長の中で8年間つとめられ、会計はもとより第3代支部長として会の運営も行政まかせにせず、「自立した消費者」を目標に現在の活動の礎を築いてくださいました渡部千厨子様を表彰いたしました。

そのあとの記念講演では、加藤広文氏(沢根出身)の「人生いろいろ」という講演で、英国に在住しそのまちで買い求めた古い物を見せなが

新新潟県消費者協会佐和田支部

ら、「資源には限りがあるから外国人のように物を大切に……」、「佐渡の景観をこれ以上損なわないように……」など、シンプルながらも環境にやさしい暮らしをめざしている私たちにとって大切なお話でした。続いて行われた、アトラクションでは、関口紀子様(河原田在住)によるフルート独奏で、「アハマリア」ほか2曲を聴きました。おそかな中にもはなやかな調べがホールを包み、和やかな心地よいひとときでした。

私たちの佐和田支部をはじめとして、消費者協会の各支部では、活動に賛同していただいている会員を広く募集しています。最後になりましたが、設立30周年記念に参会された皆様ありがとうございました。これから、設立30周年記念誌を発行する予定です。今後ともご協力ご指導をお願いします。



コミュニティ助成事業で佐高通りに防犯灯を新設

佐高通りは本町商店街や相川に通ずる佐和田地区の中心となる道路であり、また、小中学生および高校生の通学路でもあります。しかし、この佐高通りには防犯灯がないためクラブ活動を終え遅くなって帰る生徒たちの安全性や地域住民の防犯面の充実を図る必要がありました。

このたび自治宝くじの助成金であるコミュニティ助成事業の助成を受け、佐高通りに防犯灯12基が新設されました。

地域住人はもとより通学路として利用している小中学生及び高校生も明るく安全で安心して通れる道路となり大変喜ばれています。

